

平成25年度

事務事業評価表 A（平成24年度の実績評価）

記入年月日
平成 25 年 4 月 1 日

事務事業名		総合型地域スポーツクラブ育成事業				区分		事務事業No.	30413414		
						<input type="checkbox"/> 分野別主要事業 <input checked="" type="checkbox"/> 未来プロジェクト事業		課内No.	14		
政策体系		政策体系上の位置付け				<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト事業 <input type="checkbox"/> 合併建設計画事業		主管課			
政策体系	総合計画の施策名	304	生涯スポーツ活動の振興			<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		所属部	教育委員会		
	政策名	3	豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり			<input type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業		所属課	スポーツ振興課 34		
	施策名	4	生涯スポーツ活動の振興			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返し (年度～)		課長名	廣澤 由哲		
	基本事業名	1	スポーツをする機会の充実			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		グループ	スポーツ振興G		
		財務会計上の位置付け				事業期間		担当者名	塚本 真吉		
予算科目	会計	款	項	目	事業	一般会計					
	1	10	6	1	2	保健体育総務事業					
法令根拠	スポーツ振興法										

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

(1) 事務事業の概要・手段・目的・結果と各指標		
手段	① 事務事業の概要(事務事業の内容) 【事務事業の内容】 ・生涯スポーツ実現に向けた、地域におけるスポーツ環境整備を目的とし、住民主体に取り組んでもらう事業である。 ・平成22年10月24日スマイルクラブとして設立。現在会員129名、会費制で運営。 ・各スポーツ教室とイベントを実施 ・クラブ員募集のためのチラシ作成、配布、クラブ会報誌の発行。 【担当者が行う業務の手順】 ・クラブの後方支援(公共施設の予約、広報紙への掲載依頼等) 【事業費の内訳】 ・補助金 ・会費	② 担当者が行う業務の内容、実際に行った主な活動 会員募集チラシの配布・クラブ会報誌の発行・各スポーツ教室とイベントの開催 ※ 補助金については、設立後 3年までの期限がついているため、平成26年度補助金で終了となる。
	③ 対象(誰、何を対象にしているのか) 市民	⑥ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
目的	④ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 運動をしていない、する機会のなかった市民がスポーツをする機会を得られる。地域交流の輪を広げられる。	⑦ 対象指標(対象の大きさを表す指標) ア 7歳以上の人口(4.1現在)
	⑤ 結果(どんな結果に結び付けるのか) 健康で明るい豊かな生活を送っている。	⑧ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) ア スポーツ教室参加人数
結果		⑨ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) ア スポーツを通じて健康で明るい生活を送っている人の割合

(2) 指標値の推移									
区分	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	期間限定 総投入量
⑥活動指標	ア 人		400	486	500	500	500	500	
	イ 回	25	25	25	25	25	25	25	
	ウ								
⑦対象指標	ア 人	45,108	44,283	44,183	44,100	44,000	44,000	44,000	
	イ								
	ウ								
⑧成果指標	ア 人	293	264	281	300	300	300	300	
	イ								
	ウ								
⑨上位成果指標	ア %	66	70	65	65	66	66	67	

(3) 投入量(事業費)の推移		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		使用料・手数料	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	100	100	100	100		
	事業費計(A)	千円	100	100	100	100	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		述べ業務時間	時間	30	30	30	30	30	30
		人件費計(B)	千円	0	91	91	91	91	91
トータルコスト(A)+(B)		千円	100	191	191	191	91	91	
事業費の内訳	24年度事業費 実績(千円)	25年度事業費 予算(千円)	26年度事業費 計画(千円)	27年度事業費 計画(千円)	28年度事業費 計画(千円)				
	補助金	100	補助金	100	補助金	100	0	0	
	合計	100	合計	100	合計	100	合計	0	

(4) 当該年度の実施内容		25年度の事業内容	26年度の事業内容	27年度の事業内容	28年度の事業内容
※ 下記に該当する事業は年度ごとの事業内容を記入する 分野別主要事業 未来プロジェクト事業 市長マニフェスト事業 合併建設計画事業		市報をはじめクラブの機関紙によるPRに加え、市民祭やひなまつり等のイベント時にブースを設置し、直接的なPR活動を行う。	市報をはじめクラブの機関紙によるPRに加え、市民祭やひなまつり等のイベント時にブースを設置し、直接的なPR活動を行う。	市報をはじめクラブの機関紙によるPRに加え、市民祭やひなまつり等のイベント時にブースを設置し、直接的なPR活動を行う。	市報をはじめクラブの機関紙によるPRに加え、市民祭やひなまつり等のイベント時にブースを設置し、直接的なPR活動を行う。

事務事業名	総合型地域スポーツクラブ育成事業	事務事業No.	30413414	所属課	スポーツ振興課
-------	------------------	---------	----------	-----	---------

[Do] 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
 平成12年度制定された文部科学省の「スポーツ振興基本計画」のなかで、生涯スポーツ実現に向けた、地域におけるスポーツ環境整備のための重点施策として「10年間で、全国の市町村において、少なくともひとつは総合型スポーツクラブを育成する」という目標が掲げられている。当市でも総合計画のなかで、総合型地域スポーツの設立を掲げた。平成20年体育指導委員が中心となり設立準備をすすめ、平成21年7月に新たに委員を公募し34名で準備を進めた。平成22年10月「桜川スマイルクラブ」として設立された。現在会員129名

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 身近なところで教室を開催してほしい。

[See] 2. 評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている スポーツクラブに加入することにより、スポーツに親しむきっかけとなり、また地域の人たちとの交流をもつことができる。健康で明るい生活を送れ、生涯スポーツ社会の実現に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？)(法定受託事業はその名称) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である スポーツクラブに加入した市民が、健康で明るい生活を送ることが出来る契機となる。スポーツクラブは、住民主体のクラブであるが、軌道に乗るまで後方支援が必要である。
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である 対象は市民であり妥当である。市民誰でも加入できスポーツに親しむ機会ができる。
有効性	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない H22年度にクラブ設立をし、今後このクラブの運営の手法にかかっている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 住民主体によるスポーツや文化活動をする環境づくりが停滞するばかりでなく、地域コミュニティの場が育成されない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段が無い 具体的な手段、事務事業名 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 22年度クラブが設立できたので、育成支援は必要であるが期間を限って、自主運営が出来るよう指導する。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない クラブが設立したので、今後は後方支援となる。
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民を対象とした総合型地域スポーツクラブの設立、育成事業であり妥当である。

[Plan] 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市内体育施設の利用については、毎月調整を行いながら予約をいれているが、当クラブにおいては、年間利用として、利用頻度の少ない曜日や時間帯を設定しているため、活動したい20代～50代の方の入会が少ない。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果(終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(3)-1 改革改善策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								
参加したい教室の開催。施設の確保、会員の希望を聞き、施設の確保も含み開催できるか検討する。																								

[Check] 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>